



明治大学校友会 市川地域支部報

まつかぜ



発行:明治大学校友会千葉県西部支部市川地域支部 〒272-0835 市川市中国分 4-13-12 発行人:行木勝雄

なごやかに有意義に

第2回総会開く

梅雨晴れの6月4日(日)に当支部の第二回総会が、前回と同じ市川駅近くの市川グランドホテルに70名の校友が結集して午後1時から開かれました。

印南副支部長の開会のことばに続き行木支部長があいさつを述べました。

この中で、今年中に会館が落成し、その名も校旗色にちなみ「紫紺館」と決まったこと、支部に結集した校友が120名を越え、クラブ活動が増えたこととあい待って、会員活動の活発化、更なる会員の獲得そして母校への支持をしなければならぬことを強調しました。続いて来賓として出席した校友会副会長前川氏をはじめ兄弟支部である松戸、柏、船橋、安孫子の代表者が紹介されました。

行木支部長が議長となって議事に入り17年度事業報告、同収支決算、同監査報告、18年度の事業計画と収支予算が、それぞれの責任者より説明があり、協議の後承認されました。

また、小菅副支部長より引き続き「大学教育・育英協力資金」への拠出協力が述べられました。最後に校友会前川副会長が祝辞の中で母校の活動や校友会のあり方等にふれられた後、佐川幹事の

閉会の言葉によってセレモニーを終えました。

休憩の後、伊与久副支部長の司会により懇親会がスタート、中村幹事が乾杯の音頭を取りました。

この内、約10名の新規入会者の紹介、会報の発行、組織拡大についての呼びかけ等があり、当支部名物音楽アトラクションが始まりました。

最初のステージは山室&倉品のマンドリンとアルパの演奏で会員の心をなごませました。次が監査委員の阿部氏が指揮する市川童謡の会の懐かしいコーラス、そして長井氏(幹事長)が指揮するハーモニカクラブの演奏がとりをとりました。

時の経つのを忘れていこううちに、やはり必要と高桑幹事が閉会を告げました。最後はこれも定番、且下幹事の発声による校歌斉唱とエールによって、楽しくも意義ある総会の幕を閉じました。

第42回明治大学全国校友

栃木大会開く

全国校友大会は平成18年9月23日(土)、24日(日)の両日栃木県で開催されました。

戦後、昭和29年第一回福岡大会から今回は42回目となります。栃木県は、世界遺産に登録された日光東照宮、二荒山神社、輪王寺や

那須、塩原、鬼怒川、川治等温泉に恵まれた観光地でもあります。

関東地区では、東京以外で全国大会を開催するのは初めてでもあり、過去最高の1450名の校友が全国から参加しました。市川地域支部からも小菅副支部長、長井幹事長、佐川幹事、高梨氏が参加しました。

23日(土)前夜祭は鬼怒川温泉ホテルニュー岡部で開かれました。支部長、地域支部長、本部員懇談会では長吉理事長が大学事務機構の改革案について講演され、外部環境の変化に伴い、体力強化のための行財政改革の必要性(コスト削減施策)を訴えました。

24日(日)の大会は宇都宮市のホテル東日本・宇都宮へ移って開催されました。記念式典では青木校友会長の挨拶の後に長吉理事長、



明治大学全国校友栃木大会

納谷学長の祝辞があり、次いで来賓として出席した福田栃木県知事、佐藤宇都宮市長の祝辞がありました。また、校友(昭60法卒)でもある佐藤市長は「宇都宮は餃子の町で知られていますが、優秀なバーテンダーが多いことからカクテルの町。また、サックスプレイヤーの渡辺貞夫の出身地でジャズが盛んなことからジャズの町でもあります。」と興味深いPRをしていました。記念イベントはテレビ、ラジオ、講演などで活躍中の北野大・明治大学理工学部教授が「循環型社会への提言」と題し、記念講演を行いました。

その後の懇親会では明治大学混声合唱団のコーラスと地元のジャズグループ、こどもばやしの演奏があり、最後に明治大学応援団により全員で校歌を斉唱し閉会となりました。

第三回千葉県西部支部

総会開く

三回目を迎えた明大千葉県西部支部総会が6月25日(日)柏市の「プラザハイアン柏」で開かれ、県内六地域支部からの会員約120名が出席しました。午後3時から始まった会では、三宅支部長に代って副支部長の堀越さん(船橋地域支部)が開会のあいさつを述べました。

議長、議事録署名人を選出の後、議事に入り、次の議案が審議され可決されました。

- ①平成17年度事業報告および収支計算
- ②平成18年度事業計画および収支予算

また、平成17年度の監査報告があり、承認されました。

引きつづいて、各地域支部長の紹介があった後、来賓として出席された明治大学戸倉康允理事と明大校友会前川一郎副会長からそれぞれ祝辞をいただきました。

基調講演として明大商学部教授・商学博士水野勝之氏が「大学教育における連帯の必要性」で演壇に立ち大学、校友そして産業界の連携のあり方や必要性を解き明かし、強調されました。

懇親会では東京マンドリン合奏団の八名のミュージシャンが熱演。なごやかなうちに幕を閉じました。

明治大学校友会

創立120周年記念式典

平成18年12月16日、明治大学駿台校舎「アカデミーホール」において約500名が参加し、校友会創立120周年記念式典が開催されました。

明治14年に権利自由、独立自治を建学の精神に開校された明治大学は、翌年20名の学生が卒業すると同時に校友規則を制定し、さらに4年後の明治19年に校友会規則を制定し校友会が成立し、以来120年を迎えることとなりました。

大学と校友の連携を強化し、校友の教育研究支援の場として駿河台地区(旧小川町校舎跡地)に建設中の校友会館(正式名称は校友、教職員等を対象に募集し、紫紺館と決定している)の完成を祝し、記念式典が行われたものです。第一部の式典は青木校友会長の

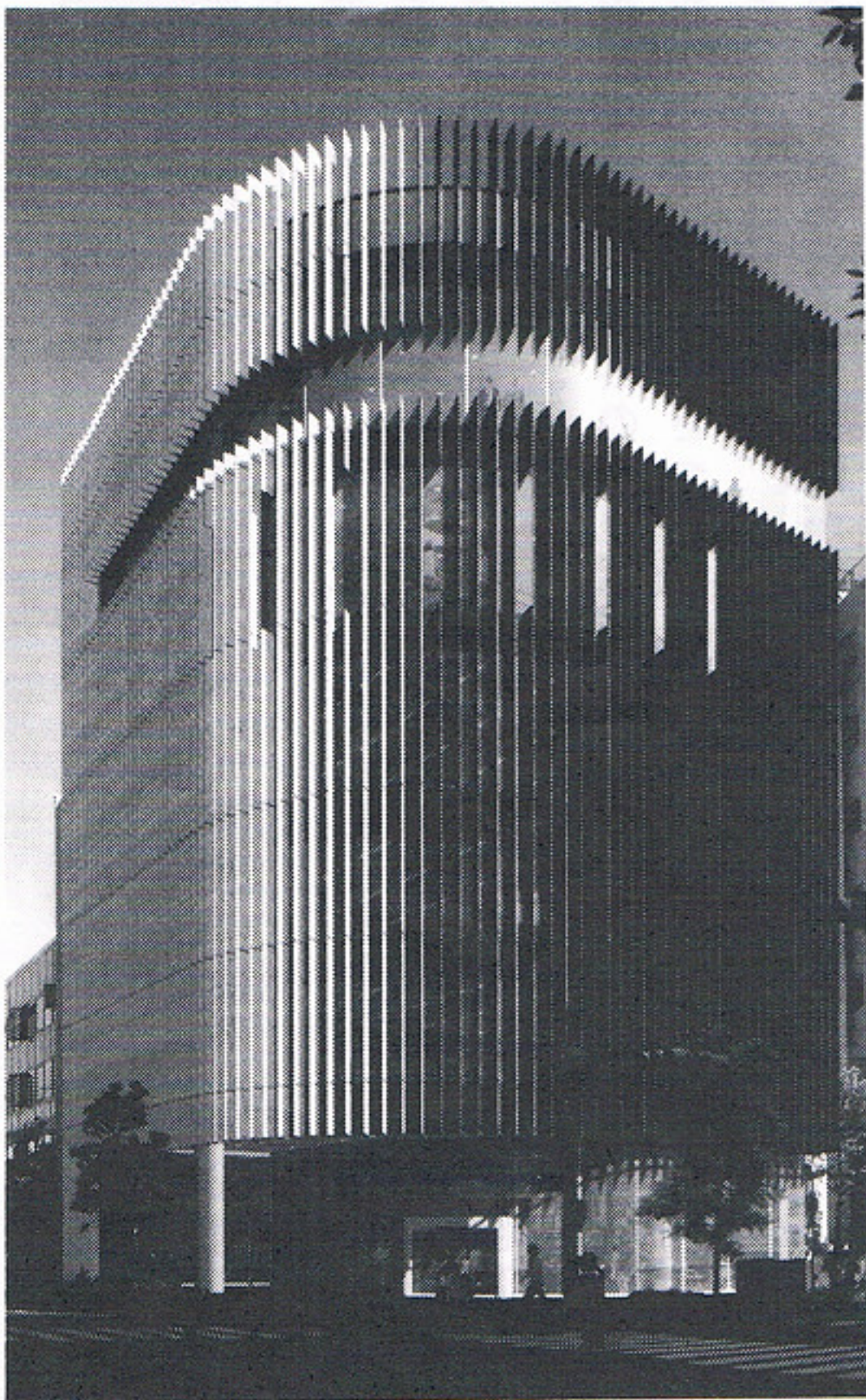
式辞と長吉理事長、納谷学長の祝辞の後に村山校友会名誉会長(元・総理大臣)による記念講演「日本とアジア・日中交流から見えるもの」があり、いわゆる「村山談話」の真意が語られました。

第二部はアカデミーコモン2階会議室で懇親会が行われましたが、明治大学マンドリン倶楽部OB会、明治大学応援団の特別参加もあり大いに盛り上がり、校歌斉唱で閉会となりました。

第三部では参加者全員で、完成した紫紺館の見学会を実施しました。建物は明大通り沿いにある校舎群のアイス色と調和した色彩で外形は斜向かいにあるリバティータワーの低層部と対応した曲線となっており、内部は各種会議や学会に対応できる施設のほか、レストランやラウンジ等が配置され、グレードの高い印象を受けました。

切手で見ると第2次世界大戦

第2次大戦の印象はというと、アメリカでは真珠湾攻撃と日本の敗戦、イギリスではバトルオブブリテン(英国航空戦)、西ヨーロッパではドイツの侵略とノルマンディー上陸作戦、東ヨーロッパではドイツの侵略と勝利ということになります。このことは、1995年頃発行されたII3面下へ続くII



紫紺の軌跡
京成電車と私

昭和31年政経学部卒 白坂明

私が市内八幡の京成電車沿線沿いに住み始めたのは昭和12年で5歳の時。当時の八幡駅は現在地より約80メートル東の葛飾八幡宮（八幡様）の境内北側の鳥居近くにありました。

京成本社によると開業は大正4年11月です。昭和10年5月ほぼ現在地に2本のホームだけの「新八幡駅」が出来たが無人駅で、車掌が乗降客の切符を切ったり回収していました。17年11月には駅舎が北側に造られ、38年に京成百貨店が開業して橋上に駅舎が出来ました。旧駅は9月の八幡様境内でのボロ市（農機具市）には大勢の利用客でにぎわった。

私の家は県道大柏―行徳線から路地を西に入った突き当たりです。20年頃に軍の指示によるのか「線路から30メートル以内の建物は取り壊す」とされましたが、終戦で取りやめに。3軒手前の家が田舎へ引き揚げたので引っ越しました。14年に八幡小に入学しましたが、県道を北に歩いて3分程の近さ。校門を入れて右側に両陛下の御真影と教育勅語を納めた奉安殿があり、児童は一礼して教室へ向かいました。当時の市の人口は10万人を少し下回り、学校は少なく、半

径3キロ以内の児童が通っていました。遠足は京成電車で谷津遊園、成田山、上野の動物園、科学博物館等に行きました。

3年生で太平洋戦争が始まり、終戦は卒業した年の8月。19年から日本軍の敗退が相次ぎ、3月の東京大空襲、広島・長崎への原爆投下で無条件降伏となり、戦火はやみました。

中学への進学では父から「技術を身につけて技術将校を目指せ先生の後押しもある」と言われ、先生の後押しもあって県立千葉工業校の電気科へ入学しました。ところが6月に検見川の花園台にあった校舎が米艦載機の焼夷弾爆撃で焼失したのです。それまでは戦鬨帽に校章を付け、国民服様の制服上下、ひざ下にゲートルを巻き、背のうを背負い、検見川まで京成で通学していました。毎週月曜には軍の将校が来て、木銃や模擬銃での軍事教練でしごかれていました。

戦後は校庭をイモ畑にしたり、近在の農家の麦踏み、稲刈り等の農作業に動員されましたが、銀シヤリの握り飯は欠食児童にとって至福の味でした。その後校舎は津田沼の鉄道連隊跡の兵舎を利用して授業が再開されましたが「戦争のせいで人生大狂い」とあきらめた身には学を修める気力無く、6・3・3制施行

に伴い新制中卒に転進。家庭の事情もあり高校、大学は4年間ずつ働きながらどうにか卒業できました。

毎朝4時59分の京成の上り始発電車の警報機の音が、70年間の目覚まし時計代わりになっています。

鑑別所と少年院の見学

昭和62年法卒 武士田 卓志

私の学生時代はアルバイトに明け暮れていましたので、サークル等の思い出はたいしてありません。そのような学生時代の中でやはり思い出に残っているのはゼミです。

私は法学部でしたが、その中には異質の犯罪心理学の「平尾ゼミ」に所属していました。

何故、このゼミを選んだかという点と1・2年のときに一般教養で心理学と社会心理学を選択し興味を持ったことと、2学年に社会心理学を選択したときの講師が平尾先生だったことです。

なんとといっても「平尾ゼミ」の特徴は3年の時に鑑別所と少年院を見学に行くことです。鑑別所は「練鑑」こと練馬の東京少年鑑別所で、少年院は八王子の多摩少年院です。

それらは普段の生活では存在は知っていても実際には馴染みの無い所なので、皆興味深く見学し、所長等、の話をお聞きしました。想像

していたよりも近代的で、生活も寮生活を思わせる様な所なので、教育施設という意味合いを強く感じました。

4年の時は、各自テーマを決めて各々自由研究をし、発表をしました。良くテーマを考えてきちんと心理学の見地から研究発表をする人もいれば、私のように心理学だか犯罪学だか判らないような稚拙な発表で誤魔化している者もいました。私のテーマは「集団心理と都市型暴動」だったような記憶があります。今考えるとなんていふ加減だったんだろうと恥ずかしく思います。

卒業し、社会人となってちょうど20年、学生時代はいい思い出があると共に、今、学生時代に戻つたらもっと勉強していただろうとの後悔もあります。

II 2面したより続くII

第2次大戦50周年と、2005年に発行された同60周年記念切手の発行内容によって伺い知ることが出来ます。この2回の切手発行ブームによって第二次大戦切手はゆうに2千枚に達する程になりました。当然、それを発行したのは勝利した米ソをはじめとする連合国および、当時それらの国の植民地であった諸国です。

敗戦国の日本やドイツは非常に少なく、日本は原爆の被害を中心に5・6枚。ドイツはナチスの事

があつたため、戦後たった2枚しか発行していません。

30年間に渡って収集して来た軍事切手の内から、第二次大戦にちなむ、スペイン内戦からミズーリ号上での降服調印に至る510枚の切手を主役にした「切手が伝える第二次大戦」(彩流社・120頁)の本を昨夏に上梓しました。

興味のある方はご連絡下さい。(印南博之)

初の社会貢献活動「ボランティアパトロール」がスタート

市川市では、ひったくりや家宅侵入等の犯罪が増加していることに悩まされております。いくつかの町内会では自主的に防火活動、いわゆる火廻りを兼ねてパトロールを実施しております。市当局はボランティアによるパトロールを積極的に実施するため、三年前の平成16年に防犯対策課を設置してより組織的な活動を展開することとなりました。

ボランティアは18歳以上の市民で、ジョギングや犬の散歩、買物などのついでに、市から貸与される、ロゴ入りの蛍光色の帽子をかぶってパトロールするものです。当支部では、伊与久副支部長の提議によって支部の社会貢献活動として実施することとし、第二回総会にも大谷市民生活部長が出席

して協力方法等を説明されました。これによって10数名の校友がパトロールに参加することになり、活動を開始しており、さらに多くの参加が望まれています。



カラオケ同好会第二回例会 トップは武田節の高桑さんに

カラオケ同好会第二回例会が九月五日(火)に本八幡のスナック「京」で催されました。

会員も18名となり、今回の参加メンバーは12名でした。会場である「京」のママさんが特別に賞品を用意してくれましたので、美声の競い合にも熱が入りました。

優勝したのは、武田節を歌った高桑謙次郎さんでした。

今年も早々と25名の新校友会員が入会されましたが、次の6名の方々が、カラオケ同好会に入会を希望されております。

柴田 進、橋詰一彦、宮本武勲、清水 隆、小林裕司、岸 秀俊 (敬称略)

今回は、忘年会を兼ねて12月2日(火)に同じ場所で開催の予定です。これからも楽しい会に育てていきたいと思えます。(小菅 公)



第二・三回共コンペは雨中に ゴルフ同好会

平成18年4月に発足したゴルフ同好会は、年内にさらに2回のコンペを行いました。

第2回のコンペは7月21日に東京湾CCで行い、15名が参加しました。雨中のゲームでしたが参加者は元気いっぱい。成績は次の通りです。

優勝月館光治、2位鶴岡正雄、3位長井孝介、ブービー飯山今朝登、ベスグロ高橋一郎(グロス87) 第3回目は11月19日でしたが、

やはり雨中のゲームとなり、千葉レイクサイドCCで開催され15名が参加しました。

優勝鶴岡正雄、2位中村欣治、3位轟正昭、ブービー河部千尋、ベスグロ鶴岡正雄(グロス88) 当初23名でスタートしましたが、第3回コンペより3名が加入され、現在は26名となりました。

新年会を19年1月22日に、市川駅前山崎厚生年金会館市川クラブで開催する予定の他、コンペのスケジュールは次の通りです。同好の会員の参加をお待ちしています。

- 【平成19年の予定】
- 第1回 4月20日(金)コース未定
- 第2回 7月20日(金)同
- 第3回 11月(日曜、休日を予定) (長井孝介)

ばーぶるばーん

「切手が伝える第2次世界大戦」を、太平洋戦争中の空襲のことをTBSラジオで放送していた永六輔さんへ送りました。さっそく放送で取り上げ、紹介していただきました。この号よりプロの手をかりて発行することにしました。記事、写真、こんなことをやった、という情報をお待ちしています。